

お わ り に

平成 29 年 3 月に新学習指導要領が公示されました。この改訂議論で最も熱心に議論され、最も大切なこととされたのは、これから 2030 年代に向かって日本という国は大きな変化の時を迎えるという時代認識であったそうです。考えの多様化やグローバル化、人工知能（AI）の急速な発達という言葉に代表されるように、情報技術の飛躍的な進化に伴って劇的に社会が変化する中で日本人が生きていくためにはどうすればよいのか、世界のグローバル化が進む中でどういう教育が必要なのかが議論されたのです。そして、この中で小学校英語が正式な教科となり、日本の英語教育の中でとても大きな役割を果たすことが期待されています。

私たち福岡市外国語活動研究委員会でも、市の現状をふり振り返りながら、これからの社会の動向や子どもたちの期待に応えるべく、より自分の思いや考えを英語を使って表現しながらコミュニケーションする（豊かに表現する／会話を続ける）ことができるようにするにはどうしたら良いかという観点から研究に取り組んでいます。

本年度は、各単元に出てくる基本表現に加え、今までに習った既習の表現やコミュニケーションを行う時に大切にしているリアクション（反応）や一言感想、繰り返し、確かめ、質問などを子どもたちがやり取りの中に多く取り入れ、より豊かなコミュニケーションを行うことができるようになるように、一つは HRT と GT のデモンストレーションの在り方について、もう一つは既習表現等の提示の仕方について研究を進めてきました。

研究を進める中で、「デモンストレーションの内容や方法」「既習表現の提示」を工夫することが、子どもの活動への意欲や満足感・達成感を向上させることから、その有効性については確認ができました。しかし、効果的な活用という点では、まだまだ課題も多く、研究を進めていく必要があります。

私たち福岡市外国語活動研究委員会では、これからも子どもたちの外国語を用いたコミュニケーションがより積極的で豊かになっていく指導方法や授業の在り方を追究していくと同時に、来年からの移行措置期間中において、小学校英語の一番の目的とも言える子どもたちが、「外国語が好きだ！」となる『モチベーションの向上』を目指し、より多くの小学校の先生方に外国語活動の授業の在り方を広めていくことができるよう努力をしていきたいと思えます。

最後になりましたが、本年度の本会の研究をより深めるために貴重なご指導・ご助言を賜りました 福岡市立西花畑小学校 校長 本水 恭子 様に厚くお礼を申し上げますとともに、本会の研究授業に際し、ご協力をいただきました 福岡市立香陵小学校 校長 田中 貴美世 様 並びに 福岡市立那珂小学校 校長 池田 彰治 様に心より感謝申し上げます。